

福島第一原子力発電所におけるALPS処理水希釈放出設備の  
運転状況の確認結果について

県では、福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の希釈放出に際し、東京電力が実施計画通りにALPS処理水希釈放出設備の運転を行っているか確認しています。

確認時刻	9:00
海洋放出の状況	放出中

1 放出の状況について

本日、各種パラメータの数値を確認した結果、設備等に異常はなく、トリチウム濃度等にも問題はありませんでした。

希釈後 トリチウム濃度*1	462	Bq/L	(放出基準 1,500Bq/L)
放出中タンク	B	群	
希釈倍率	730	倍	
本日の放出量	171	m <sup>3</sup>	
前日の放出量*2	456	m <sup>3</sup>	(最大放出量 500m <sup>3</sup> /日)
年間放出量(累計)	46550	m <sup>3</sup>	
トリチウム年間 放出量(累計)*3	約10.2	兆Bq	(最大年間放出量 22兆Bq)

\*1 希釈後トリチウム濃度 : 計算値 (ALPS処理水移送流量と希釈海水流量から計算した値) を記載している。

\*2 前日の0時から24時までに放出されたALPS処理水の量を記載している。

\*3 トリチウム年間放出量 (累計) : ALPS処理水放出量とALPS処理水に含まれるトリチウム濃度を掛けたものを記載している。

2 測定・確認用設備の状況について

放出、受入中タンク群を除くタンク群水位に変化がない (漏えいしていない) ことを確認した。

タンク種別	水位 (平均値) 前日からの変化量	前日の水位 (平均値)	備考
A群*4*5	-15 -8 mm	-7 mm	-
B群	2,211 -574 mm	2,785 mm	放出中
C群*4	3,012 +8 mm	3,004 mm	-

\*4 A群タンク点検に伴い、A群タンク水をC群タンクへ移送している。  
(作業の段取り変え等で、移送を実施しない場合もある。)

\*5 水位計の基準位置を底部から20mmとしているため、点検時の水抜き等の際は水位がマイナスとなる。

3 移送設備の状況について

一定流量で処理水移送ポンプが稼働していることを確認した。

	A系	B系
処理水移送ポンプ	停止	運転
処理水移送ライン 流量計1	0 m <sup>3</sup> /h	19 m <sup>3</sup> /h
処理水移送ライン 流量計2	0 m <sup>3</sup> /h	19.06 m <sup>3</sup> /h

4 希釈設備の状況について

一定流量で海水移送ポンプが稼働していることを確認した。

	A系	B系	C系
海水移送ポンプ	運転	運転	停止
海水移送ライン 流量計	7,444 m <sup>3</sup> /h	7,494 m <sup>3</sup> /h	0 m <sup>3</sup> /h